別紙2

事業所名 (有)ヘルパーステーション小川 ひまわりの家

作成日: 令和 8 年 5 月 18 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	ご利用者9名の内、要介護4、5が8名で、ほとんど寝たきりの方が5名、失語や、難聴などで、会話も難しい方が3名とゆう事で、ややもすると、一方的な支援になりがちである。	要介護4、5のご利用者にも役割があり、ウエス切り(布切り)や洗濯たたみ、工作や塗り絵など、今、出来ている事を継続し、寝たきりの方にも、体調をみて、ホールで協力していただく。	①職員は、ご利用者一人一人が、今出来る事、出来ない事を話し合う。 ②一方的な立場にならない為に、些細な事でも役割を検討してみる。 ③ご利用者と職員、全員参加の関係構築に取り組む。	6ヶ月
2	33	夜間は、ほとんどの方が安眠されている様子であるが、寝たきりの方などは、日中もベッドで休まれている方もおり、夜間の不眠につながっていないか。昼夜逆転も時々見られる。	寝たきりの方でも、可能な限り、食事や軽体操、レクリェーションに参加し、心地良い疲労感を感じていただき、夜間の安眠につなげる。	①1日の、ご利用者の行動把握をする。 ②軽体操、レクリェーションへの、参加の無理強いはしない。また、全員が楽しめる様な事を行う。 ③夕食後、すぐにベッドで休まず、会話などを楽しむ。	6ヶ月
3	43	入所前のご利用者の生活歴は様々で、家族構成などでも、暮らしの習慣が違っていたので、一人一人のペースに合わせた生活支援は、難しいところもある。	職員が、ご利用者9名の生活歴を把握し、違った暮らし、習慣を理解する。夜間以外は、ご本人のペースに合った行動を支援し、見守る。	①職員が、再度、家族構成や生活歴などを理解する。 ②ご本人の1日のペースが、どうあれば心地良いのかを、ご本人と話し合い、検討する。 ③認知症が進めば、ご自分のペースを発せない方もいるので、一人一人の、様子観察を十分に行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

【令和　７年度評価】
法人名：有限会社　ヘルパーステーション小川
事業所名（事業所番号）：０７７０４０３７５６
所在地：福島県いわき市小川町福岡字飯森３７－１
代表者：日下部　麻子
管理者：岡田　清美
運営推進会議を活用した事業所の評価日：令和８年５月１３日
出席者：草野様（地域包括）、柳内様（区長）、日西様（GH家族会長）、篠原様（通所家族会長）
草野（ま）、平澤、岡田、日下部（麻）、日下部（剛）

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月１日に、職員が理念を唱和し、理解と実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染拡大以降、地域とのつながりが、希薄にならざるおえなくなっている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進委員から出た意見などは、部内で話し合い、サービス向上に活かしている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村担当者との連絡などは、主に、代表者、管理者、ケア・マネが行っており、協力関係は築けている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関から何度も、出て行ってしまうご利用者がいるので、止むを得ない事情で、施錠する時もあるが、出来る限り、短時間とし、見守りをしている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束はしていない、報告は受けている。マニュアルがあるのか。 拘束しないリスクに対して、どう工夫しているか、具体的に検討しているプロセスが、確認出来なかった。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、虐待は身体的のみでない事は、十分理解しており、虐待はありません。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	報告を聞く限り、虐待の事実は無いので、充分に出来ていると思う。 虐待防止の研修が、年1回実施され、職員の意識向上に努めている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社会福祉士でもある職員を中心に、部会などで、学ぶ機会を持っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の締結は、ケア・マネージャーを中心に行っており、ご本人、ご家族には、理解、納得していただいている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者や、ご家族からは、随時、ご意見、ご要望などをうかがい、運営に反映させている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見、要望などを聞く機会は、適時あると思う。 要望などが具体的に検討され、『運営推進会議』などの場を通じて、結果がフィードバックされているかは、確認できなかった。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃より、職員から出た意見や、提案を聞く体制は出来ており、反映につなげている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の過重労働や、コミュニケーション不足がケアの質に影響を与えていないか、意見を出しやすい、安心、安全な職場環境を整える事が出来ているかなどを、確認する事はできなかった。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	非常に難しい評価項目で、現場にいないので評価できない。 個別の意向に基づいた、外部研修の支援や、資格取得のバックアップ体制があるかの確認ができなかった。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当施設は、要介護4、5のご利用者がほとんどで、ややもすると、一方的になりがちですが、工作や、洗濯たたみなど、職員が助けられるところも有り、関係性は築けている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の中に、毎週日曜日に、礼拝に行かれる方がいて、入所と同時に、関係性が途切れない様な、支援を心掛けている。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	団体生活なので、自由な生活は難しい所もありますが、出来る限り、意向に沿った過ごし方を、していただいている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に、ご本人、ご家族より、十分な話し合いを行い、ご希望、ご要望に沿った計画を立て、モニタリングは、毎月行っている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議だけでは、内部の状態は掴めず、評価出来ない。ケア・プランが形骸化せず、日々の実践が、連動しているかなどの、確認もできていない。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子は、紙面にて記載しており、状態は、職員間で共有されている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録が、細やかに記録されているか、職員間で、共有されているかなどの確認は難しいので、評価できない。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の、身体の状態に合わせ、ご本人、ご家族の要望があれば、外出支援なども行っている。			

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源の把握は、出来ているものの、感染症の危険もあり、協働とまではいかない。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	連携医より、２週間に１度の往診や、緊急時の往診が、随時、受けられる様になっている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院された場合は、早期にソーシャルワーカーなどと連絡を取り、関係作りに努めている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部の委員としては、評価が難しい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に、ご本人、ご家族と、終末期のあり方について、話し合いは行われており、全職員と情報の共有をしている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化や終末期においても、本人、家族の意向を丁寧に汲み取り、最後まで、その人らしい暮らしを支える方針が、全職員に共有されているか、確認できなかった。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃より、看護職員などから、対応の仕方を教わっている。また、連携医との連絡体制も取れている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、避難訓練やマニュアル確認を行っており、災害時には、昼夜を問わず行動できる様にしている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間の火災や、地震を想定した訓練が実施されているか、近隣住民ボランティアとの協力体制が、具体的に構築されているか、確認できなかった。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人、認知症の進行度は違うが、職員は、それを理解し、言葉掛けも、幼児言葉の様にならないように注意している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リスク管理と、自己決定の尊重という難しいバランスに対し、常に、チームで議論し、最善を模索し続けているプロセスが、確認できなかった。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同じ時間になりがちな、起床や食事時間も、拒否があれば、無理はいわず、ご利用者のペースに合わせて支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護食になりがちな食事も、一人一人の好みなどを聞きながら、食事形態には工夫している。しかし、歩行安定のご利用者はいないので、片付けは職員が行っている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事のメニューの工夫や、盛り付けに、季節感を取り入れる事はあったが、食器の選択など、楽しむ為の工夫が見られたかは、確認できなかった。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事や、水分の摂取量は、詳細に記録し、十分に確保出来ているか、確認しています。状態に応じ、食形態の工夫もしています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔の清潔保持には、特に重点をおいてケアしている。他の疾患の予防の為にもなる事も、理解していただいている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科などとの連携を含め、専門的なアセスメントに基き、誤嚥性肺炎などの、リスク管理につながる口腔ケアの仕組みができているか、確認できない。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	車いすの方でも、職員が介助し、出来るだけ、トイレにて排泄をしていただいている。排便のパターンも、職員は理解している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安易にオムツに頼らず、本人の排泄リズムに合わせた誘導を行う事で、自立意識の維持に大きく貢献しているか、確認ができないので評価できない。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週2回、入浴していただいているが、皆様、拒否もなく、職員と会話などをしながら、ゆっくりと楽しまれている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	午後の午睡を、無理に勧めたりしないので、夜間の不眠を訴える方は、ほとんどなく、安眠いただいている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、ご利用者の薬剤について理解しており、服薬時は、氏名、月・日、朝・昼・夜を全て確認し、誤薬防止に努めている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	観察ポイントが現場に周知されているか、異常の早期発見につなげているか、誤薬防止の為のチェック体制が形骸化していないかなどの、確認ができなかった。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者、一人一人の能力に応じ、工作や書画、または、洗濯たたみなどの軽作業を、行っていただいている。時々、ウッドデッキで日光浴をするなどの、気分転換も支援している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日曜日の礼拝や、美容院、歯科受診、自宅への帰宅など、日常的な外出支援は、可能な限り行っている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	要介護4、5の方が、ほとんどで、寝たきりの方もおり、お金の所持は難しい。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話、手紙などは、ご本人が希望されれば、自由に出来、支援も行っている。手紙のポストへの投函は、職員が支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物内部は、安全に移動出来る様、クッション材などを施している。共用の空間には、絵画や絵手紙、季節の生花や飾り物などで、季節感を感じ、優しい雰囲気となる様、工夫している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアル通りのケアに留まらず、「本人の本当の願い」を、汲み取ろうとする職員の姿勢が、事業所全体の温かな雰囲気を作り出しているか、確認できなかった。
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日の過ごし方は、職員から指示的な声掛けはせず、出来る限り、ご本人の意向に沿って過ごしていただいている。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護度が高いご利用者においても、ご本人の特徴を理解し、ケア、支援にあたっている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面においては、毎日のバイタル、検温、排泄などのチェックを行い。また、安全、環境面では、常に、危険個所が無いかなどの点検がされている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の観察に基き、体調の変化に、柔軟に対応できる体制があるかなどの、確認ができなかった。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限り、ご利用者、一人一人のペースで、生活していただいている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分の大切な物や、ご家族の写真などを、自由に置いていただいている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員に、お孫様の写真など置いているのは聞いている。居室を、自由に使っていただいているとの話は聞いているが、確認はできない。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	歩行可能なご利用者は、戸外に出掛ける事が出来るが、身体の状態により、外出が難しい方が多いのが現実である。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の出来る事に応じ、役割を担っていただいている。相撲や、大リーグ（野球）のテレビ観戦など、楽しみ事を支援している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	難聴のご利用者には、筆談をするなど、自由に会話を楽しんでいただいている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員からの、説明などは有るものの、活動場面は見ていないので、評価は難しい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症の危険性があり、交流は難しい。			

49	総合	本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者が9名と、少人数であるので、職員との結びつきが強く、一人一人に、合わせたケア、支援が出来ており、安心出来る日々が、送れていると思われる。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が、社会とのつながりが維持されているか、グループ・ホームでの暮らしに、安心感と充足感を得ているかなどは、確認できなかった。